



桂林市中医医院から

こんにちは！ No.5

2007.6

この頃の桂林、1日1回は大雨が降る。日本の梅雨のようにシトシトと降り続くことはほとんどないのだが、降る量が…まさに『バケツをひっくり返した』と言った感じ。そんな雨でも、道路は1時間もすれば乾いてしまう暑さだ。この季節の必需品は“傘”。雨の時は雨傘に、晴れの時は日除けに。おっ、また雨が来る。。

イベント

中日友好文化祭 2007.6.2-3

2日間にわたって広西師範大学で開催した『中日友好文化祭』。両日ともに予想以上の人が集まってにぎわった。この文化祭は、現在桂林で活動している協力隊6名とシニアボランティア3名の活動を市民に紹介すべく、また、日中国交35周年である今年、本当の日本文化を紹介すべく、企画した。協力隊が主体となり、日本語教師隊員の所属する学生らの協力を得、およそ半年間かけて準備してきた。途中、たくさん問題にぶつかったり、中国と日本のイベントまでの手続きの違いなどに戸惑い、投げ出したくなることもあったが、何とかこの日を迎えた。

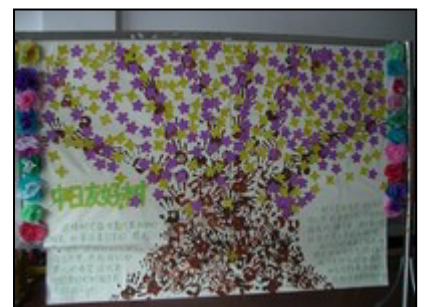
当日の朝は雨……。それも、桂林では珍しいシトシト雨。長くは降り続かないだろうと思いながら、がっかりする学生らの顔が浮かんだ。準備のために朝7時の集合。案の定、学生らは玄関に立ち尽くしていた。「大丈夫だよ！晴れるよ。準備始めよう！」そう言って、隊員それぞれも自分に言い聞かせていたように思う。開始時間の迫った頃、雨が止んだ！一気に準備のスピードが上がった。開会は30分ほど遅れたが、予定通りのイベント開催となった。

- ・よさこいソーラン節…学生と隊員による汗の結晶！（写真左）
- ・日本語コーナー…自分の名前、日本語ではどう読むの???
- ・日本の遊び…中国語版のカルタを作成。ヒートアップ！
- ・日本料理（太巻き）…留学生の協力により太巻き試食♪
- ・茶道…隊員の家族がデモンストレーション。茶室は隊員の力作！（写真中）
- ・浴衣写真館…浴衣を着て、ポーズをとってパチリ☆（写真右）
- ・DVD放映…日本文化紹介 春夏秋冬
- ・盆踊り…観客を巻き込んでの大きな輪が2つも出来ました！



- ・中日友好の木…メッセージをこめたカードをスタッフの手形で出来た大木の幹に貼り付け。サクラ（日本）とキンモクセイ（桂林）の花カードを用意。予想以上の人でカードが不足。スカスカの木になってしまったが、見事に咲いた。

あっという間の2日間であった。大学内での開催にあたり、市民の目にどれだけ触れることができるのか、不安はあった。しかし、会場には老若男女、隊員の活動紹介で足を止めて読むおばあさんの姿にニコリ。最後には、茶道を手伝った学生と隊員の母らが抱き合って再会を約束……。これこそ民間人の交流なのだろう。この光景に、頑張った甲斐はあったなとホッとした。



《 分院のはなし 》

5月末から週3日勤務することになった分院『桂林市中医医院鉄西医院』。街の中心にある本院とは違って、写真を見てもお分かりのように緑がたくさん住宅地にある。患者さんたちもみんな仲がよく、アットホームな感じがする。(聞くところによると、本院はお偉いさん・お偉いさんだった人が多いのだとか。。)分院は地域密着型の病院で、母子保健など一部保健所的な役割も兼ねている。

ベイは現在、入院部門の内五科(血拴科)に属し、脳卒中の患者さんのリハビリを担当している。もちろん、ここにも治療師はいないためマンパワーなのだが、数名の医師等が試行錯誤しながら始めていたらしい。1人の医師と1人の看護師が積極的に関わってくれる。(うれしいったらありゃしない♪)

お金の関係やらで入院日数が限られてしまうのが中国でのリハビリの現状。その患者さんたちに少しでもお手伝いがしたくて、個々の患者さんに自主トレ表を作ってみた。(写真左:中国語で作るので1人に2時間くらいかかった。。)そうしたらこれが患者さんにも医師らにも好評で。今後、このような資料を現地スタッフと一緒に作成していけたらな…。

さて、ここで ~分院の不思議~

①地域密着型の病院であることは上にも書いた。しかし、入院している患者さんはお隣の省(湖南省)の患者さんが多いのだ。患者さんたちは「車で2時間半しかかからないからね」って言うけれど??? そこにも病院はあるらしい。どうしてえ?

②この病院は元来『桂林市第八人民医院(2級病院)』だったところ。3級病院である中医院(現在の本院)が吸収したカタチなのだが…中医院を銘打っているのに治療基本は西洋医学だとか??? 確かに、中医学と言えども現在の主流は中医と西医の結合治療らしいのだけれど。どうしてえ?



●おまけ写真●

左:ある午後の1コマ。勤務中にみんなでスイカを食べる♪赴任した当初は驚いたけれど、今はコレも交流と!
中央:分院入院部門(1階:保健所的な部門 2階:産婦人科 3階:内五科) 右:分院外来部門



~ 中国語講座 ~

●医療・リハ用語

医生(いーしえん):医師

中国は医師がとても多い印象。日本で言う『技師』(放射線技師、マッサージ師など)も医師に含まれる。

护士(ふうーし):看護師

男女ともにこれを使う。男性看護師もいるらしいが、いまだお目にかかったことはない。

編集後記

ベイの嘆き

今月末で中国に来て1年を迎える。振り返ると、なんだかんだ言っても早かったように思う。あと1年。さらにこの1年は早く過ぎてしまうと言う。さて、どう過ごそう…? 確かなものがないままこの1年を過ごしてきた。でも、1年頑張ってきた自分に拍手!関わってくれた現地スタッフに拍手!下半期1年も、怒って、泣いて、笑って、でも、51%は笑っていようと思うのだ。(ベイ)